

市立中央病院改革プラン2008 概要版

市立中央病院の現状

プラン策定の基礎となる現状の把握・分析

策定の趣旨

「公立病院改革ガイドライン」に基づき、病院の再生と市民に安全安心な安定した医療を提供し、今後も引き続き地域医療を確保していく事を目的として、市民等の意見などを拝聴しながら改革プランを策定しました。

基本的な考え方

改革プランに基づき病院経営改善に総合的に取り組み、①一般病院として存続させ地域医療を確保維持していく。②市の財政負担の軽減を図る。

市立中央病院の役割

地域住民の医療を確保し、住民の健康保持のための公衆衛生活動等を行うことによって、地域住民の福祉の増進に資すること。①医学の進歩に対応した適正な医療の供給に心がけながら、一般医療のほか、開業医では対応することが困難とされているへき地等の地域医療の確保向上、救急医療などの不採算医療及び専門的医療を積極的に推進し、安心して信頼される医療を効率的、継続的に提供する。②保健・福祉対策の中核としての役割(保健福祉施設との連携強化) ③地域の中核機能を持った医療機関としての役割(開業医との連携強化)

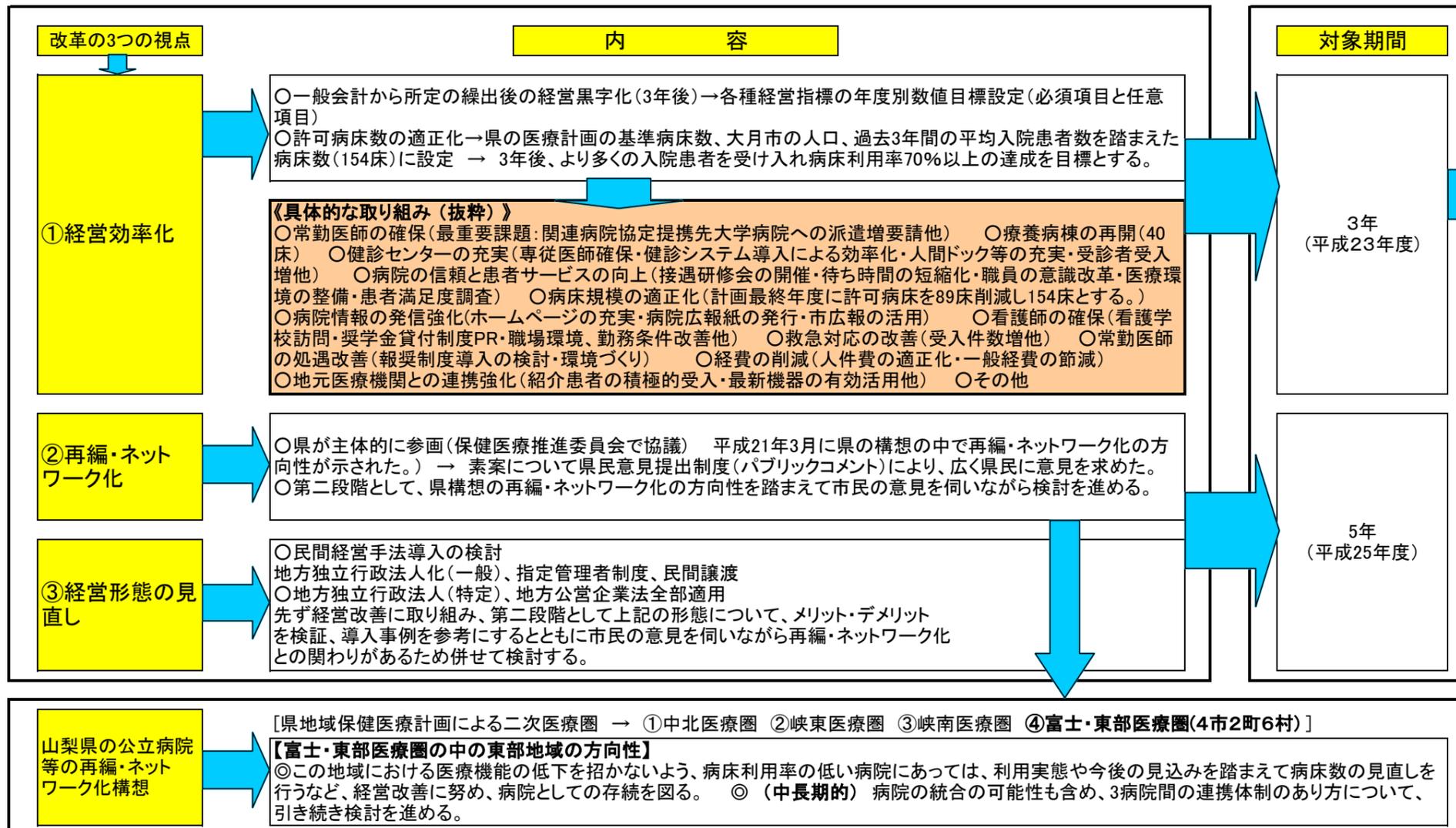
一般会計負担の考え方

病院を存続させ地域医療を確保していくため、「地方公営企業法」及び「自治体病院の経営原則」に基づき市の繰出基準に沿って一般会計負担を継続する。



年度別の主な数値目標

項目	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
		(初年度)	(第2年度)	(第3年度)	
病床数(床) 平成22年度まで89床休止		154	154	154	
	内訳	一般病床		110	
		療養病床 感染病床		40 4	
常勤医師数(人) (年度末)		9	10	11	
1日平均 患者数(人)	入院	一般療養	84	89	96
			31	34	36
	外来		260	278	288
病床利用率(%) (実稼働)		74.7	79.9	85.7	
経常収支比率(%)		95.5	96.1	100.4	
職員給与費比率(%) (非常勤医師賃金を除く)		50.5	50	47.6	
職員給与費比率(%) (非常勤医師賃金を含む)		63	61.9	58.8	
救急患者取扱件数(件)		2,350	2,600	2,850	
健診受診者数(人)		12,900	14,000	15,000	



年度別収支計画 (単位:千円)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総収益	2,191,892	2,304,376	2,447,816
総費用	2,295,706	2,398,768	2,438,205
純損益	▲ 103,814	▲ 94,392	9,611
医業収益	2,092,818	2,198,973	2,342,413
医業費用	2,233,428	2,323,768	2,358,205



信頼と協働のまちづくり 大月市

プランの実施状況の点検・評価・公表

委員会の立ち上げ 年1回以上の点検・評価 改革プランの改定 積極的な情報開示(ホームページ・広報等) 総務省調査協力

※PDCAサイクルによる改革 → 改革プランの策定(Plan) 改革プランの実施(Do) 改革プランの点検(Check) 改革プランの改定(Act)